

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.15 2012年8月15日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### ポリコムジャパン、Polycom RealPresence プラットフォームの機能強化を発表

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、「Polycom RealPresence プラットフォーム」の機能強化を発表した。(米:7月16日、日本:7月25日)

発表内容のポイントは以下のとおり。(1)「オープン API スイート」、(2)「Polycom RealPresence Resource Manager」、(3)マルチテナント機能、(4)「Acme Packet Net-Net セッションボーダー コントローラ」、(5)「Polycom RealPresence Mobile 1.3」。

オープン API スイートは、ビデオコラボレーションを日常的なビジネスプロセスに容易に統合できるようにすることを目的としており、独立系ソフトウェアベンダ、チャネルパートナー、顧客、サービスプロバイダーは、オープン API とソフトウェア開発キット(SDK)を利用して、新しいソフトウェアアプリケーションやソリューションをテスト・作成・配信できるようになる。

新しい API とソフトウェア開発キットは、同社指定のウェブサイトより入手可能(7月下旬を予定)。また、カスタマイズしたソリューションのテストや作成、他の開発者とのディスカッションフォーラムへの参加などでもできる。

Polycom RealPresence Resource Manager は、スケジュール設定、管理、プロビジョニングのための新しいソリューション。最大 10,000 台のデバイスをサポートする一方で、従来のネットワークの管理や通話のスケジュール設定がさらに簡単になるという。

マルチテナント機能は、ひとつの Polycom RealPresence Resource Manager を利用して、セキュアで拡張性の高い方法で複数の顧客をサポートすることができる場所が特長となっている。これにより、リソースに対する投資を最適化し、

運用コストの削減を可能にする。日本での提供開始時期は未定。

ポリコム社は、Acme Packet Net-Net セッションボーダーコントローラとの完全な相互運用性を実現した。ビデオコラボレーションをモバイルデバイスにも拡張できるとともに、ユーザに複雑なファイアウォールトラバーサルやネットワーク設定を強いることなく、ネットワーク境界を越えたセキュアな接続を提供できる。利用については既に可能となっている。

Polycom RealPresence Mobile 1.3 によって、ポリコム社によると、Polycom RealPresence の拡張性を 100% 向上し、同時に 1 万台までのデバイスをサポートできるとしている。提供開始は、7 月下旬を予定している。

### NTT ビズリンク、タブレット、スマートフォン、 PC 等に対応したクラウド型ビデオ会議サービスの提供を開始



#### サービス利用構成イメージ (NTT ビズリンク資料)

NTT ビズリンク株式会社(東京都文京区)は、クラウド型「スマートビデオ会議サービス」の販売を7月2日より開始した。(7月2日)

スマートビデオ会議サービスは、インターネット接続/WiFi、LTE などモバイル環境と、PC やタブレット端末、スマートフォ

ンがあれば、世界中どこからでも、簡単操作でビデオ会議に参加できる。

一方、月額利用料金は、1 ユーザ ID あたり 3,780 円(税込)、また、オプションメニューとして、複数の拠点で会議を行う場合の会議室利用料金は、18,900 円(税込・5 人会議室 1 室の場合)となっている。

NTTビズリンクによると、スマートビデオ会議サービスは、会議室でのビデオ会議利用から脱却した新たな会議利用シーンを提供できるサービスで、利便性と、安価な料金体系による低コストが特長という。

今後は、既存のテレビ会議多地点接続サービスとの相互接続も検討しているとしている。

今回開始したサービスは、アルカディン・ジャパン株式会社(東京都港区)と連携することで実現。アルカディン・ジャパンでは、Vidyo 社の技術を用いてグローバルにビデオ会議サービスを提供している。

## NTT アイティ、大規模接続や複数会議室設定が可能な遠隔 Web 会議サービスを発表

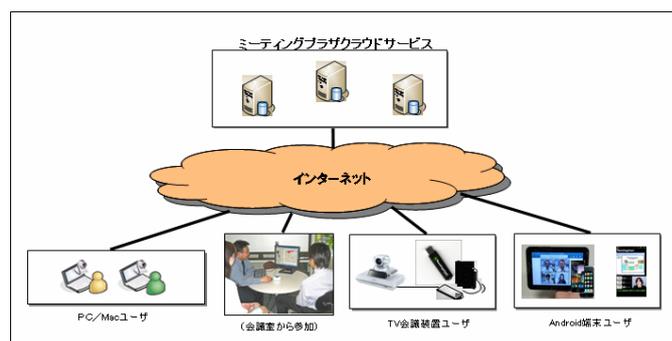
NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、同社の SaaS 型遠隔 Web 会議サービス「ミーティングプラザ」のコース・メニューを拡張した「ミーティングプラザ エンタープライズ ASP (E-ASP) サービス」を 8 月 1 日より販売開始すると発表。(7 月 24 日)

ミーティングプラザ エンタープライズ ASP (E-ASP) サービスの提供にあたっては、管理サーバなどは、クラウドサービスとして NTT アイティにて用意。ユーザは接続用のクライアント端末とインターネットを参照できる環境、および Web カメラ、ヘッドセット/マイクスピーカなどの周辺機器を揃えるだけで利用開始可能。加えて、サーバ機器の調達・設置のほか、ネットワークの再設計などは不要という。

特長は、高音声品質、高解像度映像(1280x1024 まで)をサポートするほか、7 種類の画面レイアウト、資料共有機能、さまざまな接続端末サポート(Windows、Mac、スマートフォン、タブレット、電話)などがある。また、最大同時接続

数は、128 まで(拡張可能)のほか、最大同時接続数のなかで複数の会議室を設置・利用可能。さらに、常設の会議室を複数自由に設定可能となっている。

また、利用料金については、利用規模にあわせて、最大接続数 8 から最大 128 までの 10 コースを用意。最低契約期間は、1 年間、年間一括支払い時の割引制度あり。詳細は同社に確認要。



ミーティングプラザ エンタープライズ ASP (E-ASP) サービス接続イメージ (NTT アイティ資料)

ミーティングプラザ エンタープライズ ASP (E-ASP) サービスでは、これまでオンプレミス(ユーザ設置型)のシステムでしか利用できなかった大規模接続向けの機能を ASP サービスでも利用可能にするもの。加えて、サーバやネットワーク等の調達をはじめ、管理にかかわるトータル運用コストの削減を実現している。

NTT アイティでは、これまで、クラウドサービスでは対処できない大規模多地点構成、複数会議室の同時利用などは、顧客側にサーバを設置するオンプレミス型のシステム構成にて提供してきた。

今回のミーティングプラザ エンタープライズ ASP (E-ASP) サービスでは、ASP サービスの機能に加え、オンプレミス型の高機能性と、ASP サービス利用の容易性の双方を兼ね備えて、さらに使いやすい環境を提供しているという。

NTT アイティのミーティングプラザサービスは、3,000 社以上の導入実績をもつ資料共有型 Web 会議サービス。今回発表のサービスは、年間販売 100 サービスを目標としている。

## シスコシステムズ、ポスト PC 時代のビジュアルコラボレーションソリューションを発表

シスコシステムズ合同会社(東京都港区)は、ポスト PC 時代のビジュアルコラボレーションソリューションを発表。(7月13日)

Android から iOS、Mac、Blackberry までに対応した「Cisco Jabber(シスコジャバー)」のポートフォリオに新たに、「Cisco Jabber Windows」版と「Cisco Jabber iPad」版を追加。Windows 版は 2012 年 4 月に提供を開始しているが、iPad 版は、近日中(プレスリリース発表時点 7 月 13 日から)にアップル社の App Store より提供を開始する。

Cisco Jabber は、ビデオ、音声通話、プレゼンス、インスタントメッセージング、デスクトップ共有、会議、ビジュアルボイスメール機能などを利用して場所にかかわらずコラボレーションが行えるところが特長。加えて、シスコは、Cisco Jabber とテレプレゼンスのネイティブな統合も拡張する考えだ。

一方、シスコが 2012 年 6 月に販売開始(コンテンツ共有機能は、2012 年後半の出荷予定)した、1080p 対応 3 スクリーンのイマーシブ テレプレゼンス プラットフォーム「Cisco TelePresence TX9000」シリーズ(6 ユーザから最大 18 ユーザ使用、標準価格は、299,000 ドル)は、「Cisco TelePresence Touch」ユーザインターフェイスにより、Cisco WebEx などのコラボレーションツールとワンタッチのシンプルさを統合するとともに、標準ベースであれば、他社製のあらゆるエンドポイントとも相互運用できるように設計されている。

これらにより、モバイルユーザは、オフィスでも外出先でも、テレプレゼンスのセッションを開始したり、セッションに接続したりできるようになる。

## ギンガシステムソリューションの多地点テレビ会議サービス、議長機能サービスの無料化を 8 月から

株式会社ギンガシステムソリューション(東京都中央区)

は、「議長機能」サービスを、8 月 1 日より無料とすると発表。(7 月 24 日)

議長機能サービスは、同社が提供している多地点テレビ会議サービス「ミーティングネット」中に、各参加拠点で表示する画面構成や画面分割レイアウトを変更できるもので、無料で提供することにした。

ミーティングネットは、テレビ会議システム「ワープゲイト」シリーズユーザ向けに提供されており、議長機能サービスは、有料のオプションサービスとして、1 会議ごとに 3,150 円の利用料がかかっていた。

利用方法は、ミーティングネット予約ホームページから、議長機能を「利用する」と選択することで利用できるという。

## ビジネス動向-国内

### シスコシステムズ、最先端コラボレーション体験ショーケースを開設

シスコシステムズ合同会社(東京都港区)は、東京本社にある CBC(カスタマーブリーフィングセンター)を拡張し、7 月 19 日より、システムの説明やデモなどが行えるコラボレーション体験ショーケースを開設することを発表した。(7 月 13 日)

このコラボレーション体験ショーケースは、タンバーク社(シスコ買収前)が東京・神谷町で運営していた「TelePresence Solution Experience Center(TSEC)」を、東京・六本木の東京ミッドタウン内の CBC に移設し、内容をさらに拡張したものになる。

「人と人とをつなぐ」、「サイロ化(複数システムが個別に構築・運用されている状況)の解消」、「時間の制約からの開放」というコラボレーションに求められる 3 つのイノベーションを具現化した、7 つの「新しいワークスペース(New Workspace)」を構築した。

それらのワークスペースは以下のとおり。(1)オープニングステージ&エグゼクティブラウンジ、(2)多目的会議室、(3)コラボレーション型オフィス、(4)エグゼクティブオフィステレワーカー、(5)カスタムソリューションルーム、(6)イマーシブルーム、(7)エグゼクティブラウンジ。

なお、シスコシステムズでは、このようなショーケースを、すでに全世界 12 拠点展開しているという。

### エックスグラビティ、テレワーク 1000 プロジェクトへの支援として OpenMeetings の無償提供を開始

株式会社エックスグラビティ(東京都台東区)は、同社が参画している被災地(東日本大震災)テレワーク支援協会「テレワーク 1000 プロジェクト」への支援として、「OpenMeetings(オープンミーティングス)」の無償提供を行うことを発表した。(7月17日)

OpenMeetings は、32 カ国語に対応しているオープンソースの Web ビデオ会議システム。ソフトウェアのインストールを必要とすることなくブラウザ経由で手軽に Web ビデオ会議が行えるシステム。エックスグラビティは、テクニカルサポートを行っている。

無償提供する Web 会議を活用することを通して、被災地の企業の現場から具体的に必要としていることと、東京側に期待・支援してほしいことを話し合い、具体的な仕事の依頼や共同事業など経済活動に直結させていくことを目的としている。

また、企業間をつなぐためだけでなく、現地の雇用問題に対応すべく、就業者教育に利用したり、在宅コールセンター、派遣型のテレワークなどの就業者との連絡に利用される予定。

テレワーク 1000 プロジェクトは、株式会社ライフネスが中心となり、総務省、経済産業省、国土交通省のテレワーク推進省や自治体、民間企業(170 社を越える)と連携し、2011年7月に協議会を発足、テレワークを活用して被災者への業務支援を行っている。

エックスグラビティは、OpenMeeting やクラウドフォンを活用した働きやすいテレワーク環境支援に関連した、システム受託開発、ヘルプデスク、テクニカルサポート、Web 更新のサービスを提供している。

テレワーク 1000 プロジェクト <http://www.telework-1000.jp/>

### ビジネス動向-海外

#### Vidyo 社、製品戦略責任者として Amid Shaked 氏がプロダクトマネージメント担当上級副社長に就任

米 Vidyo 社は、Amid Shaked 氏をプロダクトマネージメント担当上級副社長に任命したと発表。(7月9日)

Amid Shaked 氏は、Vidyo 社の全製品にかかわる製品戦略やロードマップについての立案とマネージメントの責任者となる。

Shaked 氏の前職は、ComQi 社において、北米市場における販売パートナーの開拓といったインダイレクトセールスの責任者、また、その前の職である Press-sense 社では、Xerox 社との OEM 関係構築と維持において実績がある。その他にも、企業設立や CEO などの実績があり、一方、テレビ会議関係では、2001 年にポリコム社に買収(3 億 5000 万ドル)された Accord Video Telecommunication 社の北米担当社長の経験もある。

#### Vido 社、David Kaminsky 氏を CFO に任命

Vidyo 社は、David Kaminsky 氏を最高財務責任者(CFO)に任命したと発表。(7月16日)

David Kaminsky 氏の前職は、NTT データが子会社化した Kean 社の上級副社長兼最高財務責任者(CFO)。またその前は、GE 社においても同じく CFO の経験があり、財務や管理部門での 25 年以上の実績をもつ。

Vidyo 社としては、2011 年度の売上は前年に比べ 82%増を、また 2012 年第1四半期では、90%の売上増を達成した。今回は、会社として重要な成長時期における CFO 任命となる。

#### 米 FuzeBox 社、2000 万ドル規模の第三者割当増資実施

米 FuzeBox 社は、2000 万ドル規模の第三者割当増資(シリーズ A)を行ったと発表。(7月12日)

FuzeBox 社は、Web 会議サービスを提供する米ベンチャー企業。デスクトップからタブレットやスマートフォン、また、テ

レプレゼンスシステムとの連携などデバイスやネットワークを選ばないコラボレーションサービスを提供しているところに特長がある。現在一日に、世界 122 カ国 10 の言語で 78,000 のオンラインミーティングの実績があるという。

今回のシリーズ A 増資においては、Index Ventures 社を筆頭に、Khosla Ventures 社、Insight Ventures 社からの資金調達を得た。また一方で、Triple Point Capital 社から、250 万ドルの借り入れも行った。増資と借り入れを合わせて 2250 万ドルの資金調達を行ったことになる。

今後同社でのセールスやマーケティング活動、そして開発部門の強化などに今回の増資や借り入れを当てる。

また今回の資金調達に合わせて、筆頭出資者である Index Ventures 社パートナー Mike Volpi 氏が FuzeBox 社の取締役会に加わることになった。

### Masergy 社、コミュニケーションソリューションの Broadcore Communications 社を買収

米 Masergy 社は、米 Broadcore Communications 社の買収を発表した。(7 月 10 日)

今回の買収によって、Masergy 社の MPLS ベースのネットワークプラットフォームに、Broadcore Communications 社のクラウドコミュニケーションプラットフォームを組み込むことで、ネットワークソリューションからコミュニケーションソリューションまでフルラインナップで提供することができるようになる。

Broadcore Communications 社は企業組織としては今後もそのまま存続するが、同社のコミュニケーションソリューションのマーケティングや営業、または、顧客サポートについては、親会社となる Masergy 社が支援する。

### Arkadin 社、台湾の中華電信と市場開拓を目的に締結

Arkadin 社と中華電信(台湾通信事業者、Chunghwa Telecom)は、台湾の市場開拓の目的でパートナーシップを締結した。(7 月 17 日)

今回の提携によって、Arkadin 社は、同社の音声会議や Web 会議サービスを中華電信に対して提供する。これにより、中華電信の顧客は、音声会議、Web 会議、イベントなどのサービスを利用できるようになる。また、iPhone、Android、ブラックベリーなどのスマートフォン、タブレットにも対応する。

この提携にあわせて、Arkadin 社は、台北市に同社のオペレーション拠点を設置する。Arkadin 社は、29 カ国に拠点を展開してきたが、この台北市で 50 ヶ所になる。

### Arkadin 社、アドビ システムズ社とグローバルなリセラーディストリビューション提携

アルカディン社(フランス)は、アドビ システムズ社とグローバルなリセラーディストリビューション提携を行ったと発表した。(7 月 24 日)

これにより、アルカディン社とアドビ システムズ社のパートナーシップをこれまでの「Oneplace」を越えて強化し、アルカディン社は、Web 会議システム「Adobe Connect」販売パートナーコミュニティに加入、Adobe Connect のフルソリューションを取り扱うことになる。

具体的には、アルカディン社の音声会議サービス機能を拡張し、Adobe Connect の eLearning やウェビナーモジュールに対応する。音声会議と Web 会議がシームレスに統合されており、音声についても VoIP のほか通常の電話での会議も可能という。

### SPIRIT DSP 社、ロシアの通信事業者 Rostelecom 社にビデオ会議ソフトウェアのライセンス供与

ロシアの SPIRIT DSP 社は、同国の通信事業者である Rostelecom 社に、ビデオ会議ソフトウェアのライセンスを行ったと発表。(6 月 25 日)

Rostelecom 社は、電話サービスからモバイル、ブロードバンドインターネットサービス、ペイテレビサービスなどを提供している。ロシア国内で 4300 万の加入がある。国内 LTE ライセンスも保持している。

Rostelecom 社は、SPIRIT DSP 社からライセンス (VideoMost.com ソフトウェア) を受けることで、自社ブランドの多地点接続テレビ会議サービスを提供する。利用料金は、月額 20 米ドル (利用無制限)。

同社にとっては、新たな収益と顧客満足向上の機会を得ることができるとともに、同様のサービスを提供する VVoIP プロバイダー (Video、VoIP) に対して競争上優位に立てるとしている。

## 導入・利用動向-国内

### 成田空港の多言語対応テレビ電話案内サービスを NEC の「UNIVERGE 遠隔相談ソリューション」で実現

日本電気株式会社 (東京都港区) は、成田空港株式会社 (千葉県成田市) に対して、多言語対応テレビ電話案内サービスを実現するシステムを提供したと発表。(7 月 18 日)

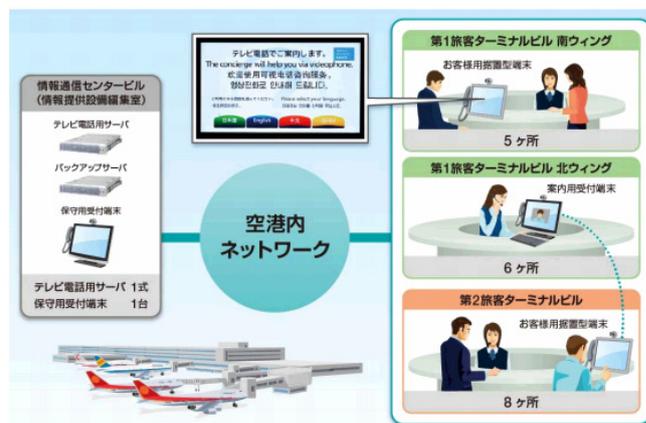
多言語対応テレビ電話案内サービスのシステムは、旅客ターミナルビルの各案内カウンター 19 ヶ所に設置され、ディスプレイ上のタッチパネルを操作するだけで、日本語、英語、中国語、韓国語のいずれかの言語で、案内スタッフとディスプレイ上で互いの顔を見ながら会話ができる仕組み。また、ディスプレイ上で、地図や資料を表示しながらの会話やカメラを通してお客様の航空券を確認することもできる。

成田空港の案内カウンターは、場所や時間帯によって、お客様が多くなるカウンターや少なくなるカウンターにばらつきが出る。

このテレビ電話案内システムを使用することで、たとえば、今後空港利用増が見込まれる中国語、韓国語を話すお客様が母国語で案内を求めた際に、その言語に対応できるスタッフがいない場合、カウンターに設置したディスプレイを通して、別のカウンターにいる、その言語を話せるスタッフと会話ができるようになる。

このように 19 ヶ所の全案内カウンターのスタッフが相互に補完しあいながら顧客対応が可能になることで、スタッフ

の稼働率を向上させるとともに、問い合わせに対する迅速かつ明瞭な対応が行え、顧客満足度が向上につながると考えている。



### システム利用イメージ (NEC 資料)

このシステムは、NEC の「UNIVERGE 遠隔相談ソリューション」をもとに構築した。すでに成田空港での利用件数は、月間 1,500 件になっているという。

NEC は、今回の実績を推進力にして、UNIVERGE 遠隔相談ソリューションを今後 3 年間で 450 社に提供することを目指す。

成田国際空港株式会社 <http://www.naa.jp/jp/>

(次ページへ続く)

## セミナー・展示会情報

## &lt; 国内 &gt;

ポリコム製品ユーザーの皆様向け  
 ポリコムグローバルサービス定例セミナー(第1回)  
 ~ポリコム製品を眠らせていませんか?最大限活用されていますか?~  
 日時:8月24日(金) 15:30~16:30  
 会場:ポリコムジャパン セミナールーム  
 主催:ポリコムジャパン株式会社 サービス営業部  
 詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events/index.html>

マイクロソフトのユニファイド・コミュニケーション基盤  
 「Lync 2010」ご紹介  
 日時:8月24日 13:30~16:00(受付:13:00)  
 会場:マイクロソフト 品川グランドセントラルタワー(東京都港区)  
 主催:日本マイクロソフト株式会社、三信電気株式会社  
 詳細・内容:  
<https://msevents.microsoft.com/cui/EventDetail.aspx?EventID=1032519890&culture=ja-JP>

テレビ会議システム最適プランニングセミナー  
 比べてわかる。あなたの会社に相応しいテレビ会議システムはどれ?  
 日時:8月27日(月)14:00~17:30(受付:13:30~)  
 会場:日立ハーモニアス・コンピテンス・センター  
 (品川イーストワンタワー13階)  
 主催:株式会社日立システムズ  
 共催:株式会社日立製作所、株式会社日立ハイテクノロジー、エイネット株式会社  
 詳細・申込:  
<http://www.hitachi-systems.com/seminar/2012/08/0827.html>

見える! Web コールセンター『もしもし Concierge』ご紹介セミナー  
 日時:8月28日(火)13:30~16:30  
 会場:渋谷区商工会館 (東京都渋谷区)  
 主催:ニューロネット株式会社  
 講演企業:ライド株式会社、GN ネットコムジャパン株式会社  
 株式会社社長塚電話工業所  
 詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

## &lt; 海外 &gt;

The WR UC&C Summit - Singapore 2012  
 日時:11月28日-29日  
 会場:シンガポール、Conrad Centennial Singapore  
 主催:Wainhouse Research, LLC  
 詳細・内容:  
<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=491>

## 定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

また、先日8月4日には、これまでのPCからの閲覧に加えて、スマートフォンやタブレットからも閲覧できるようになりました。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版  
 2003年-2011年  
[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)  
 2012年  
[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/2012/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/2012/)

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくための機会への窓口にもなっています。

カタログスクウェア株式会社  
<http://www.catalog-square.co.jp>

\*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。  
 \*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。



TelepresenceOptions 社から夏号が発行されています。季刊誌で購読は無料。私のところにも、先日届きました(写真左)。

購読方法など詳細は下記をご覧ください。

<http://www.telepresenceoptions.com/magazine/>

次号もよろしくお願致します。

橋本啓介